京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久駒太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所　京城新報社

雜錄

内外應酬

—記者

京城管見錄（五）

（一）日本實業家　何處も同じ事である、が中流の實業家は社會の中堅である、京城も其通り、實業家にして志の移らない且つ此邦に眞面目なのは此の流の實業家である、彼等は向上心を有する併しながら慾を滿足せしむる爲めに手段を撰ばずして盲進する者は殆んど無しといふことが出來る、が彼等の中にも大實業家の多くが本職の如くせる虛業を學ばんと欲し若くは羨望するものが無いでも無かつたが、夫等は相尋いで斃れ、他の者は之れを見て戒心する風で今では甚だ堅實なる階級が出來かゝつてゐるのである、これといふも畢竟彼等は內地に於て社會の中位に在る家の子と生れ、少許の資本を懷にし或は否大膽赤裸一貫にて渡韓し其の額に汗して築き上げたる位置なるが故に一擧手一投足にも細心なる考量を費すのと、今一つは大實業家の如く虛業を營むの便宜を有せぬからであらう、此の二つ以外に若し何か理由ありとすれば金の有難味を感ずることゝ大實業程で無いからであらう、で不景氣の過ぐる一二年を最も活潑に働き通して斯界の命脈を維持したのは此の階級の人達である。京城に於ける少實業家程轉變極まり無きものはあるまい、然かも內地の夫れと至つて活氣がある、三井、鴻池などは夜々彼等の夢に入ることであらう、斯くて京城は彼等が久戀の地となるのであ る、爲政者は移民の蹤跡を此間に發見すべきである。

（二）日本虛業家　虛業家なるものには誠に種類が多い、所謂利權屋は其の最も煩はしきものゝ一つである、之れが相手と成りて利用しつゝ利用されつゝするものは主として官吏と實業家である今も何人の記臆に新たなる彼の莞島事件の如きは、官吏と實業家と虛業家との犬牙錯綜したる樂屋の關係を頗ぶる露骨に表はしたるもので、隱約の間に首尾能く行はれたるは江原道の山林拂下げの如きものであらう、此外閣より國に滑り込む幾多の利權問題は記者が筆を執れる此の瞬間と雖ども待合の奥温突の隈、或は權官の應接室にも講究されつゝあるやも計られず、實業家の眞面目なる計畫も多くの場合利權屋の介添なしには成立しないものと聞く去れば彼等は常に美衣を纏ひ美食に飽き盛んに閑中飛躍を試みつゝあるのである、其資本の供給者は至つて眞面目なる實業家が大部分であつて、時には白銅紳士すら一杯喰はさるゝことがあるといふ、恐らしき辣腕を有するものである。地所家屋賣買及金錢貸借の周旋人等もあるが之れは畧する、而して此に韓國の虛實業者を紹介する。

雜報

俵次官の訓示（下）

五、留學生の多數は東京所在の學校に入學せんことを志望するが如きも東京以外にも完全の敎育機關あり決して東京のみに限るべきにあらず素より學部に於ても決して東京在學を一概に排除せんとするものにあらず履修學科によりては東京の外適當とするものなきにあらざるを以て今や日本の敎育は大に進步發達し東京の外大阪に京都に東北に九州に到るところに志望の學科を修むることを得べし元來東京は日本の首府にして韓國人隨て多く諸子の生活上種々の利便多きは論なきも一面には種々の誘惑物他に比し甚だ多きを以て日本に於ても文部省は地方多數の學生を首府に集むるの得策ならざるを認め近年各地に大學高等學校各種專門學校等を設け地方に於て眞摯に修學するの途を開けり是れ諸子の東京を修學地とする不利の第一なり次に東京には韓國人多く隨つて生活上便利を享くるも反面には相互の往來頻繁にして爲めに勉學を妨げられ其不利を感じ弊害を訴ふる者多きを見る是れ其二なり加ふるに前にも述ぶるが如く東京留學生の一部には政治問題に狂奔せるものありて動もすれば其弊風に感染し其の渦中に陷る虞なしとせず要するに東京は生活上便利なるも修學不利と認むべき點多し此場合に於て何れを取り何れを捨つべきか謂ふまでもなく修學上の利益のためには生活居住の便利も一時は犧牲に供せざるべからず故に諸子の東京留學の希望は一概に之を容るゝ能はず是等は諸子亦深く意を用ゆべき點なるにより諸子の留學地は能く調査を遂げ留學生監督に於て指定するところあるべし諸子幸に之を諒せよ

杞柳栽培の好望

柳行李は日本の特產物にして海外到處に好評を博し隨ふて各縣共是が原料たる杞柳の栽培に努めつゝあるが最近の調査によれば柳行李の產額は二百萬圓を下らず內輸出額は產額の約一割二十万圓に上り白柳にて輸出する原料額は六萬圓以上を超へ輸出先の主なるは露國淸國英米國なるが目下一箇年の產額僅かに二百萬圓に過ぎざるを以て一時に多額の註文に應ずる能はざる次第なるが韓國は由來柳科の植物に適し所在其繁茂を認めざるはなし殊に一般地價は低廉にして且つ江岸荒蕪の地に乏しからず此點よりするも本國同栽培地に比し格段の差違あるのみならず勞銀廉なる工手を得るの利あり其他江河の護岸上柳は最適なる自然の保護者なれば韓國に於ける杞柳の栽培は兩面に亙る利益を有すれ共今日に於ける周圍の事情は當業者をして樂觀する事を容さず經營に就ては最も愼重の用意を要すべしとは某當局技師の談なるが今左に掲記するは某當業者の多少誇大と見るべき點なきにあらざるも大方の參考に供す曰く白杞柳の價格は十ヶ年平均相場壹貫目六十錢に相當す日本內地への運賃は一貫目約五錢を要す初年百町步に栽付けるとすれば當年に六万貫二年目十三万貫三年目二十五萬貫を收納し同賣收金は初年八千圓次年一萬七千圓三年二万五千圓を超ゆべし以上收穫量數は普通田畑一反步の收穫は栽培後三年度より三百貫以上を得らるゝも二百五十貫とは最も控目に見たる計算なり尙ほ杞柳の生存期は二十年を存續するものにして栽培後三年度に至り普通の收穫量となり以下同一の收穫を成し得べきものなり

地方電報

▲平壤通信

▲順川暴民の判決　順川市場稅に關する暴民の重なるもの二十六名に對し平壤地方裁判所に於て去る卅日午前十時より判決言渡しあり其結果は終身懲役一名、懲役十五年二名、同十年三名、同七年一名、同三年二名、同二年二名、同一年四名、同十ヶ月一名、笞一百八名、無罪二名（婦人）、然して何れも控訴するべく手續中なり

▲國債報償金調査　當平壤に於ける國債報償金の醵金費消事件につき取調の爲め京城より十名の同會委員來壤し種々調査中なり

▲排日學校の演說會　當地の排日學校にして有名なる大成學校にては去月末演說會を開きたるが其趣旨は排日主義にして生徒に對ひ種々排日鼓吹的言論を試み尙ほ韓國は一日も早く日本の保護を脫して獨立せざる可らずと主張し暗に合邦問題に反對の意を洩せり

▲天道敎の發展　平壤及び平南を中心として□□其他三郡の天道敎徒は約三千名に達し耶蘇敎に劣らぬ優勢を示し居れるが四五日前平壤に於て大會を催し其結果今後大々的發展を試みるに決し同敎會の有力者黃學道は順安其他の二郡に出張し寄附金の募集に着手し尙ほ敎會堂に充る目的を以て當地の某日本人所有の家屋（元學校）を二千五百圓に購入する契約をなしたり

日本銘刀傳

第百四席　津田近江之守（八）　邑井一講演



やがて引拔いて眺めて見て九郎兵衛は驚いた眞赤に錆びてございます　九「どうだ伊東、荻野これを見て遣りなさい、ハヽ此の方の腰の物に非を打つて居る岡島の腰の物は是れだ、この刀身は名は何だな、余はどの名刀と見ゐるが年越の晩に此奴移と一座を仕さうな代物だな、岡島の宅には猫が居るか、アヽッ何居ない、ムヽ居なくつて仕合だぞ、猫の傍に置いたら飛び付いて終ひには椽の下へでも咬へて行かうといふ樣な代物だ、オイ岡島、さて錆びたりな赤鰯、見事な代物だな汝の腰の物は」彌惣右衛門は實に無念の切齒をいたして、ヂッと膝に手を置ブル〳〵身を慄はせ齒を咬切つて居りますると、九郎兵衛は自分の一刀は全くの眞守作に相違ないと心得て居りましたやつを、贋物に等しいと云はれたので殘念で堪らぬから、そこで一つ此奴を困つて遣らうと、小量極まる九郎兵衛でございます　九「御身は全体知行は何程領つて居る、ムヽッ彌惣右衛門、假令小身といへども汝を嘲るではないぞ、汝は而も金奉行といふ重き役を勤めて居る石取ではないか、いやさ士分以上ではないか、この腰の物は何だ、この樣な物を手挾んで居つて危急の間に合ふかヤイ彌惣右衛門、畢竟するに太平なればこそ汝は是れでも濟むと思ふであらうが、武士といふものは治に居て亂を忘れずといふことがある、今にも騷破戰場の働きといふ時になつたら斯樣な物を引拔いて汝は戰場にて用ふる積りか、汝は上を欺いて祿を食る是れぞ知行泥棒、尸位と稱へる……何だ〳〵何を睨むのだ、賊に違ひないではないか、上より御知行を頂戴いたして居つて、武士の表道具たる魂が斯く腐つて居つては腹の根底までも腐つて居ることを表して居る、拙者の腰の物はな、贋物であらうが何であらうが、大きにお世話だ、まんざら赤鰯と一般にはならぬ白痴漢奴、よくも汝れは斯樣な物を挾して居ながら此の方の刀に非を打つたなエヽッ汚穢い持つて下れ」と刀身をば岡島彌惣右衛門の膝の前へ投げ付けました、大抵な者なれば滿座の中で斯かる侮辱を受けては我慢が出來ません、岡島も汝れと飛び掛つて、假令赤鰯であらうが我が腕前の程を見せて異れんと、既に斯らうとは心得ましたが、イヤ〳〵無禮講の席上とは雖ども城內なり、殊は當年は殿は江戸詰め、主君のお不在中に御家老に對して手向ひをいたしたといふことが、相分るときに於ては、主君に對して申し譯もなきことゝ、ヂッと無念を忍へまして　彌「誠に御家老樣恐れ入りました小身者の悲しさには……　九郎「默れ、假令小身でも刀の一本ぐらゐ貫へぬことはあるまい、汝は斯樣な物を手挾んで居つて、上から頂戴いたしたるところの知行は何にして了ふのだ、定めて賭博でも打つのであらう」思ふ存分に罵言をされましたがヂッと忍へて其のまゝに錆びた一刀を鞘に納め、これを携へ坐を起つて悄々と其の身の席に歸りましたが、大勢の中には心悪き九郎兵衛付きの者もあるから笑ひ始めましたが、心ある武士は、アヽ岡島は天晴れな了簡、併し今日は何で彼の樣な物を挾して來たのであらうと、大きに不審に思つて居りますうちに　彌「誠に御一同中座を仕りまして濟みませんが、少々彌惣右衛門腹痛でございます、お暇を頂戴仕ります」と其のまゝ座を起ちまして御城內を下つて了ひましたが、何樣な者でも滿座の中で是れだけの恥を辱されたのでございますから、我慢の出來兼ねるところでございます然し思ひ顧して見れば、御家老が彼の樣な贋物をば正眞の大原眞守作なりと思つて挾して居らつしやるところを見れば乃公の赤鰯は分に相應して居ると漸う氣を紛らして自分の屋敷へ歸つて參りました。

東京電報

▲條約改正談判開期 來る八月より米國を除き各列國に對し現條約は明年七月或は八月に終了すべき旨通知を發すると同時に目下編成中にして右改正案に對し一應列國の意向を聞きたる上改正の談判を開始する筈なり(三日)

▲全國專賣局長會議 本日午前十時より大藏省會議室にて全國鹽專賣局長會議を開き桂藏相一場の訓示を爲したる後左の諮問事項に就き向ふ七日間開會の筈(同上)

一、製鹽地整理取扱及手續に關する件
二、製鹽用器に關する件
三、製鹽所諸物設備及機械類價額に關する件
四、製鹽地整理に關する件
五、未定……

▲板垣伯爵にも恩賜 今回大隈伯爵の功勞を思召され陞勳の御沙汰ありたるに付板垣伯にも同一の思召を以て養老金として近々御手許金より數萬圓御下賜の事に內定せりと承はる(同上)

▲青森市の大火災 昨日青森市ヤスカタ町より發火折柄の烈風に煽られて忽ち四方に延燒し青森郵便局、同電話局、東津輕郡役所、青森市役所、安田、商業、弘前の各銀行、東奧日報(青森市字長島にあり)陸奧新聞を初め市街目拔の場所七千餘戶全燒殆んど全滅の大損害にて死傷者十名を生じ慘憺たる光景を呈せり青森郵便局全燒の爲め只今迄報知達せざりしなり(四日)

▲在監死亡者追悼會 目下司法省にて開會の全國典獄會議に出席中なる各典獄は明五日築地本願寺に於て在監中死亡者の大追悼會を執行する事に決し同日は岡部法相も出席すべし(同上)

▲聖公會の大學設立 英國聖公會にては我國信徒の爲めに東京に大學校を設立すべしとの事には昨年來本國及歐洲にて之れが經費を募集中なりしが此の程右經費約四十萬圓に達したれば愈々設立に着手する事となりたり敷地は多分東京府下巢鴨方面なるべしと(同上)

▲各省の豫算概算書 各省豫算概算書は暑中休暇前大藏省の查定を終はるべき順序なるも各省よりの提出遲延の爲め每年暑中休暇後確定するの例なり本年は豫算と差迫りたる問題もなきを以て順序通行はるべし

哈爾賓電報

▲外人に退去命令 ブラゴエチエンスクの對岸に於ける清國官憲は同地在留外國人に對し退去を命令し紛擾を極めつゝあるが本邦人は哈爾賓に訴願したりと(四日)

歐洲電報

▲白國の妥協成立 今回白耳義國は伊及獨國に對し公果國に關する妥協成立したり(四日)

▲伊國外相の伯林着 伊太利國外相ジユリアノ氏は本月中に伯林に來着すべし(同上)

▲本邦人の回々教徒 山岡某なる本邦人回々教徒となり名前をオーマルと稱し土耳古國メンカを訪ひ各地を巡遊して極東光國氏來れりと到る處非常の歡迎を受け居れるが同人は六月下旬歸朝すべしと(同上)

寄書

京龍合併に關して　京城本町六丁目　田村義次郎

京龍兩民團合併問題に關し曩に皆川議員の寄書あり今又田村氏より左の寄書あり本社は此際贊否何れに拘らず該問題に關する投書を歡迎す

京城龍山兩民團合併問題は目下民會議員の調查審議中に任り予は本問題の成案と爲るに於ては我等京城居留民の頭上に新に巨額の負擔の落下し來るならんと想像するものなり我等民團稅納附の義務を有するものは此際大に合併の可否新に來るべき負擔の多寡如何、其合併の居留民に與ふる利益幸福は果して我等の負擔の增加を忍ぶべき程の價値あるものなるや、合併問題は今日急遽蒼皇其決定を爲すの必要あるや我等を研究するを必要とするなり

而して民團理事者及議員は目下熱心其研究に從事し成案を得るに日夜勤むる所あるは大に諸氏の勞を多とするなり然れども本問題は韓國の首府たる京城民團の發展即ち我が帝國居留民の最も多く集團したる居留地の發展に關する大問題にして殊に實際的重要問題は民團財政事項に係るを以て我等納稅者の豫じめ其利害を講究するは當然の務にして又其權義に屬するものなりと信ずるなり此際に當り民團議員皆川廣濟君の其合併反對意見を公表せられたるは予の居留民諸君と共に皆川君の議員たるの本分を盡されたるを感謝せんと欲すると共に民會に於て其審議を愼重にし一面深く輿論の傾向を觀察し其可否を決せんことを要求し同時に又合併を可とする議員諸氏に早く其意見の內容を公表し我等をして兩々相對比し可否の有る所を講究するを得るの方便を與へられんことを希望するなり予は玆に此短文を草して京城居留民諸氏に計らんと欲す記者足下幸に其餘白を貸し以て與論を喚起するの機會を與へられんことを懇請す

雜報

官營韓酒の好評

財源調查局に於ては昨秋麻浦に醸造試驗所を新設し同時に醸造に關する諸般の設備を完成せし以來島居技師監督の下に韓酒を初め他諸種醸造研究は着々其步を進め居れるが就中藥酒の成績は頗る善良にして近時一般の需用に應ずるに至りしが清澄にして稍淡黃を帶び酒精含量も殆ど日本酒に伯仲し其質醇良にして口當りよく寧ろ日本人の嗜好に適せるが如く殊に其價の廉なるは一罎僅かに十錢を超えず爲に韓人一般の好評は固より日本人間にも追々需要を喚起し來るの好況なりといふ

●貨幣整理の終了期 韓國の貨幣整理に着手したるは目賀田顧問にして其の當時韓國內の貨幣は葉錢及舊白銅貨の濫造盛んに行はれ殆んど貨幣たるの効能無き情態なりしを以て目賀田顧問は先づ葉錢四百七十萬圓舊白銅貨約九百六十萬圓を回收したるを始めとし其後今日まで漸々整理し來り現今に於て舊白銅貨は既に回收し盡して僅かに一小部分を殘すのみなり而して葉錢は今後尙ほ回收を續くる筈なるも補助貨として其の幾分を流通せしむる計畫なれば今日に於ては最早大體の目的を達するに至りたるゆへ本年中には貨幣整理の一段落を告ぐべしと云ふ因に記す整理着手の當時より今日までに要したる經費は新貨鑄造費用、銀行よりの借入金及其他を併せ五十萬圓以上に達し居れりと

●各地方の治道工事 韓內地に於ける治道工事は今や其の頂點に達し各道地方費の大半は之れが經費に使用されんとしつゝあることは屢々報導したる處なるが忠淸北道に於ても地方費中より二千五百圓を支出し之れに夫役を加へ沃川邑より停車場、黃間邑より停車場に至る道路を開鑿することに決定したり、又慶尙南道蔚山長生浦間(二里九町五十間)は交通上之れを開鑿するの急なるを認め此程國庫に工事費の補助を稟申せり▲平壤は韓共同市內道路改良事業は日本人居留民團よりの支出額決定せざるが之れが決定を見次第に韓國政府は約四萬圓の補助し該工事に着手すべしと云ふ

●韓國現在の郵便線 韓國の郵便線は四百四十二線にして此延長千四百六十里二町の由にて現時韓內地は危險多きを以て憲兵警察官及び守備兵にて該郵便線を分擔警備することとなり居る由なるが其分擔區域は警察官十七線(此延長百十二里二十町)憲兵警察官合同擔任區域四百二十三線(此延長千三百四十五里十八町)憲兵警察官守備兵合同擔任區域二線(此延長二十里)なりと云ふ

●韓國寺刹及僧尼數 其筋の最近調查による韓國に於ける寺刹及び僧尼數左の如し

道別	寺數	僧數	尼數	計
漢城	三五	三〇七	八八	三九五
京畿	一三三	五三三	七一	六〇四
忠北	七七	一一六	二七	一四三
忠南	六五	三〇八	二二	三三〇
全北	九七	二一七	一五	二三二
全南	五六	五三九	一六	五五五
慶北	一四八	八〇二	三三	八三五
慶南	一〇六	一、二九七	八〇	一、三七七
黃海	五八	八一	三二	一一三
平南	四三	一二六	一五	一四一
平北	八四	一四八	一三	一六一
江原	五七	五二〇	一九	五三九
咸南	四八	三一三	二四	三三七
咸北	三五	九一	三八	一二九
合計	九五六	五、一九八	五六三	五、七六一

●新學政と忠北地方 新學政に對する韓人一般の歸向は倍々良好なる現象を示めしつゝあるが忠淸北道沃川郡の如き從來は兎角新敎育を喜ばざるの觀ありしも近來の風潮を見るに大に其形勢を一變し現に私立彰明學校今學期の新入學者は七十餘名の多きに達し既に校舍の狹隘を告ぐるに至れり是れ全く新敎育の等閑に付すべからざるを知覺せる爲めなりと云ふ

●親耕式と官員奉迎 五日親耕式御舉行遊ばさるゝに付き在京定員は御發輦、御還宮の敦化門に於て奉送迎の旨內閣にて決定されたり因みに諸般の設備もなしたることなれば當日若し雨天なるも細雨位なれば御舉式の由にて大雨なる時は無期延期となるべしと云ふ

●韓人警部採用試驗 內部にては六月一日より韓人警部採用試驗を行ふ由にて志願者は願書に履歷書を添へて五月三十日までに內部へ提出すべし試驗日割及科目左の如し

六月一日　讀書、作文、外國語
同　二日　民事刑事に關する諸法規警察に關する諸法規算術(比例百分等)
同　三日　口述試驗、體格檢查

●稅制調查員の人選 京城民團に於て近く組織せられんとする稅制調查會は會員を民團議員中より選定すべしと主張する者あるも斯くするときは特に調查會を組織する必要なく民會に於て調查すれば可なる譯にして調查會の目的に反する故委員は單に民間より擧げず廣く官民中より人選する筈なり

●地方行政事務刷新 內部は地方行政の刷新と共に大に其事務の改善を計るべく特に從來等閑視されたる會計及地方費事務に重きを置き此方面に對し吏員の充實を計り一般行政事務の活動と共に內部の整理を遂げ憾なからしむべき方針なりと云ふ

●警察管轄區域變更 本年度に於て警察署十七箇所駐在所八箇所を增設することゝなりたる結果現今の警察署及駐在所の管轄區域を變更する必要を生じ來る十五日より全道の警察署及び駐在所の名稱、位置及び管轄區域を變更することに決定したり

●兩線着手測量區域 去る一日より着手したる京元、湖南兩線の第一期測量區域は京元線は龍山より揚州郡、抱川郡を經て漣川迄にして湖南線は太田より懷德郡、鎭岑郡、連山郡を經て江景迄でなりと云ふ

●首相邸の大臣會議 三日統監邸に於ける大臣會議散會後各大臣相携へて李總理を其の邸に訪ひ二時間餘に渉りて密議を凝らし尙趙農相は各相に後るゝ一時間にして退散せり

●西北學會月報押收 西北學會月報第二十三號は治安妨害の廉に依り去る四日其筋より發賣頒布を禁止し押收されたりと云ふ

●蔚長間道路費補助 蔚山長生浦間道路改修の爲め慶尙南道は國庫補助金を稟請し來れりと

●稅務局長會議開催 度支司稅局に於ては近日地方各稅務監督局長を招集し同局長會議を開く筈

●第二師團騎兵聯隊 第二師團騎兵聯隊は三日淸津港に上陸

●澤田局長の招宴 澤田地方局長は三日夜松井局長、松本理事官、武石、平渡、武藤の諸氏及び南韓巡視中の一行を自宅に招待し酒宴を張りたりと

●東洋協會新講師 東洋協會學校京城分校の行政法講座は從來澤田法學士なりしが今般平渡法學士擔任となれり

●兩管區長の交代 憲兵中尉加藤勝之進氏は春川管區長に同中尉時枝善政氏は鐵原管區長に今回新補せられたり

●大熊大尉の歸朝 軍司令部附騎兵大尉大熊松彥氏は今回親衞府敎官を辭して六日朝の列車にて歸朝する由なり

●光濟號の仁川歸港 沿岸航行中の光濟號は一昨三日仁川に歸港したりと

東拓と農工銀行

東拓會社金融部と農工銀行とは放資の目的孰れも韓國拓殖の上に在るが從來東拓の爲す處を見るに兎角眼前の事業のみに放資せられ又其額の如きも僅か二十萬圓內外も出でざるが如し堂々たる同社は斯かる有樣なるにも拘はらず農工銀行は僅少の資本を以て數百萬の農業資金を融通しつゝあり則ち彼と是との實際の働きは如此雲泥の差あるが幸ひ今回同社金融部擴張されたるを以て今後は東拓として大資本を要する方面に投資せしめ農工銀行は專ら小事業に放資せしむべき方針を執らしめんと當局者は相互間に交渉中なりと云ふ

京城衛生組合大會

京城衛生組合は從來各町別々に獨立して組合事務を取扱ひ來りしが時勢の必要に鑑み今回各町組合を一團と爲すことに決し其發會式とも云ふべき大會を三日午後六時より花月樓に開けり、當夜出席の來賓は三浦理事官古城民團長、阪本南部署長代理及各新聞社長等なり各町組長組合員出席者は五十餘名にして座長は田村義次郎氏其任に當れり會務の報告を了り後親睦の宴に移るや田村座長發起人を代表して一場の挨拶を述ぶ次に三浦理事官の答辭あり續いて古城、戶叶、池田諸氏の演說あり歡を盡して散會せしは午後十時なりし

●沙里院の穀物相場 沙里院地方に於ては從來沙里院を距る三里の銀波と稱する地に雜穀の集散あり取引盛んに行はれ同地より水路鎭南浦へ輸送するを常とせるが昨今は鐵道と特約の上運賃割引輸送の便宜ある爲め此等雜穀類は何れも沙里院驛附近に集り殊に粟の如きは目下該特約輸送により新義州、宜川、嶺美等に向け盛んに輸送されつゝあり一般に昨今は已に農繁時期に入りたる爲め農夫は耕耘の多忙を極めつゝある折柄とて出廻り薄く隨て買手は品薄の爲め焦急り買ひの有樣なり▲白米は內地一般安値の爲め韓田は殆んど無し品出廻りは田舍農夫の剛米あるを以て昨今弗々出廻りつゝあり相場は粟が北韓地方不作の爲め昂騰せるにつれ白米も亦昂騰し三週間前石に付き中白九圓五十錢を唱へたるものが十一圓見當に昂騰し昨今は一市場約百叺以上の出廻りありたり▲粟は市場相場は八圓、驛渡八圓八九十錢見當なり驛渡は昨今一日平均二十屯內外なり而して此等は皆な前記の如く新義州、宜川、嶺美方面へ輸送されつゝあり小豆は昨年一般稍々不作の爲め出廻り皆無なり相場は七圓四五十錢なり▲黍は一ケ月前より淸國人の買進みたる爲め目下荷薄く相場は船渡し裸にて四圓七十錢內外なりといへり(二日調)

●實業團歡迎會準備 南京博覽會開設に際し視察の途に就ける日本郵船會社々長近藤廉平氏及東京商業會議所副會頭大橋新太郎氏等一行は來る八日入京せらるべきに付來る十日花月樓に於て石塚長官市原韓銀總裁三浦理事官古城民長中村會頭の諸氏發起人となり盛大なる歡迎會の宴を開催せらるべしと

●馬山電燈の起工期 日韓瓦斯會社が今回附帶事業として馬山の電燈を經營すべく決定せるは既報の如くなるが之が起工期は本年八月頃の豫定にして燈數は二千個の計劃にて其收支目論見によれば纔に七八千圓の利益を見るを得べしと云ふ

●松永師團長披露會 松永第二師團長は來る七日午后一時より京城ホテルに於て着任披露の宴を張らるゝ由來賓は大久保大將、榊原少將石塚長官代理、其他重なる居留官民也

●谷田司令官の消息 三日午前九時當地出發北韓視察の途に就きたる谷田憲兵司令官の一行は昨日午後六時三十分釜山着同午後九時釜山出帆咸興分隊へ向ひたり

●民團招魂祭の場所 來る六日鐘城臺に於て執行せらるべき京城民團の招魂祭は雨天の場合には本願寺別院に於て執行すべしと云ふ

●松平野田兩氏出發 社用を帶び在京中なりし東洋拓殖會社監事子爵松平直平氏及同代議士野田卯太郎氏は三日當地出發歸朝せり

●大倉氏の兼二浦行 滯京中なりし大倉喜八郎氏は四日午前龍山出發列車にて兼二浦へ向ひたり

●兩代議士の本浦行 當地視察の爲來京の代議士改野耕三及秋田義一の兩氏は三日木浦へ向ふ

●松田滿鐵技師出發 入京中なりし滿鐵技師松田博士は四日午前龍山發列車にて新義州へ向ひたり

●大屋韓鐵長官歸任 東上中なりし大屋韓鐵長官は三日午後八時十分南大門着列車にて歸任したり

大倉鶴翁を訪ふ(下)

一記者

爾來私は何國にても其本國の人達と利害の共通を計らねばならぬといふ主義で事業の經營も其心持でやるのですが韓國に居る日本人も……」大議論が生れさうに成れり記者も翁を訪へる最初の目的は何か其邊の大事を聽かん爲めなりしも第一に翁の着物に肚肝を拔かれ次に應對振りに魅せられて大倉家盤石の基礎は大方斯る間に築かれたるかのやう思ひ做されたるを以て敢て大議論の鋒先を避け『利害共通と云へば貴翁の學校も益々盛大のやうで……』翁は「昨日學校に參りましたが生徒も皆怜悧さうな少年で夫れに校長が能く勤めてくれますので殊に喜むで居ります朝鮮人も敎へなくては可ませんよ抑も東洋の文明は印度から西藏に入り支那に出て朝鮮を通り日本に渡來したものですから今度は日本から返禮を仕なくてはなりません早い話が孔子樣が酒掃應對といふ事を敎へられましたが朝鮮……」と云ひかけて韓人をチラと見て言淀み『今では日本が其方の本家になつてゐますからね―」又しても六か敷成りさうなり記者は閑章して「此の御旅行中何か面白いのが出來てゐますなら一寸聞かせて頂きたいものですが」と云ひしに翁は莞爾として『有りますく彼の五年間紛擾に紛擾を重ねて居ました宇治川と淀川の問題アレを今度大阪に立寄つて調停しました夫れで

淀川のよどみも澄みて宇治川の水の力は弱くなりぬれ

夫れから釜山で瀨田といふ家に宿つて實景を

此の宿は對島の海を池に見て槇の島根も庭の築山

とやりました」此の時恰度善隣學校の教師らしき人が見せられ生徒職員が御見舞の印なりとて洋酒如うのもの二瓶を進呈せしに翁は「オ、く夫れはく」と斗り眼をうるまして喜べり此翁果して涙あり

公人私人

▲鈴木武臣(憲兵大尉)三日仁川へ向ふ
▲畑原耀太郎(同中尉)三日釜山へ向ふ
▲千々和種助(同上)同上
▲神津条作(同上)三日太田へ向ふ
▲長野一郎(判事)三日入京佐藤旅館へ
▲野木傳三(同上)浦尾投宿
▲折橋時太郎(石川縣農業株式會社取締役)同上三日入京山本旅館に投宿

▲治外法權▼

此間は大久保商務局長が見へた、局長の滯在中統監府や或一部の方面では夫々歡迎もした樣だつたが民團及民團側では何も仕なかつた樣だ、古城民長中村會頭揃ひも揃つてヨクもボンヤリした次第で御座りまする▲近日近藤廉平氏外多數著名の實業家がやつて來るソーだ、右に就き民團と會議所とが連合發起となり廣通館邊りで大歡迎會を催すが良かろうと思ふ、尤も民團も會議所もやらねとすれば外になんとか考へねばならぬ▲京城衛生組合が成立した、從來各町々に別れ居た同組合が京城なる名の下に統一さるるに到つたのは大に賀すべしだ、兎角仕事の成績を擧ぐるには統一が必要だ、殊に衛生の如き仕事に關しては尙更だ▲只玆に鼻持のならぬは同組合が成立匆々會長を置くとか置かぬとかでゴタゴタイて居ることだ、之れは甚だ外聞の惡い事だ、ドウカ一日も早く何とか決すべしだ▲記者の見る以乃至統監でも置きたければ勝手に置くが良い、併し仕事は名で出來るものではない、常に朝鮮人を笑ひながら名を欲しがる朝鮮人にカブレては困る▲一体衛生と云ふ語は英語のサニテーシヨンから來たのだ、サニテーシヨンのサニテーは正氣と云ふ事だ、而し其正氣にインを加へてインサニテーとすれば不正氣となるのだ、我京城衛生組合はドウカインサニテーの團体とならぬ樣にしたい、之記者の老婆心だ。



名妓洗髪のれ妻(二)

▽口惜しい〳〵大事件
▽中洲あつての大人氣

斯んなヤンチヤをされて私も困つた事もありますがね私が藥研堀の病院に入院してました頃病院の院長さんの話で面白い事があります、餘り機嫌の好くない話だから御免蒙りますが、其頃私が甘鯛の味噌漬が大好物だといふので市村が土産に持つて來て夜の十二時頃から朝方迄介抱して與れました、夫れなので分かれる時分に市村が私に云ひましたよ、れつぎや二度と俺のやうな男が若しあつたら一つしか無い首を遣つても好いとねぇ私だつてさう言つたわ、若旦那を私程大切にした女がありますかとね▲其んな二人の間で私は市村の爲めにれ金を費つたとて何も自慢らしうケチ臭い事を云ふのぢやありません、私の方で上氣切でゐたのですからね、夫れで市村が廿五兩の包紙の役者が今の羽左衛門になるまで隨分私も苦勞したね、大歌舞伎にゐても情ないね、ハツと客へて榛澤六郎のチヨボで揚幕から兩手をブランコにしてノコ〳〵出て來て大根々々と云はれた折ですもの此れでは税が上らぬと思つて音羽屋の叔父さんには脊を向けた仕方ですが中洲へ出て貰ふ事にして稲田屋の女將も力を入れて與れましたので私も出方一同に博多の帶を出したりして大騒の最中に私に取つちや口惜しい〳〵事が持上つた▲といふのは、斯んなに市村を中洲に出演すやうにして大骨折つてゐました、新橋で連中を作らうと思ひ、驅け摺り廻つてゐました處が吉野屋といふ藝妓屋で、市村が中洲に出るならば新橋では連中にも入らねば幕などは御免を蒙ると云ひ出したので、大分話が込み入りかけました、私は口惜くて口惜くて堪らぬ、此處まで市村の爲めにやりかけて、私が出てゐる新橋の連中が一つも作れぬとあつては、私の顏の丸潰れは兎に角、私が引受けて出た稲田屋の女將さんに顏向けが出來ないので、花の家で寢てゐても落ち落ちしてゐられないのですもの、此の話を聞くと直ぐ飛起きて寢衣一枚のうまい姿なざを氣にもかけてゐられません其れ〳〵飛び出して三河屋の幸吉姉さんの宅へ泣いで行きましたわ▲幸吉が幸吉姉さん、流石は酸いも甘いも知り拔いた人でゝもの、宜しいといふので、姉さんの盡力でやう〳〵話は穩かに濟み中洲の景氣たらありませんでした。

南米倉町の大火

▽損害額十三万圓餘
▽警官消防夫の盡力

春漸く老ひんとして夢更らに成り易き昨四日午前二時二十分南大門通り裏なる韓人米雜穀市場倉庫は祝融子に災せられ總建坪二百五十坪を燒盡したるが發火の原因は西部養生坊倉洞宋許鉉なる者從來市場の東側に沿ひたる倉洞往來にある倉庫に直接し小さき煙草小賣店を開き毎日出店に行き毎夜十時頃閉店し火氣は消し止め自宅に歸るとの事なれば同夜通行の韓人が烟管より打落したる吹殼より煙草小賣店に垂れ掛けありたる莚類に燃移り更らに如上倉庫に燒け移りたるものならんと發見したるは殆んど發火と同時刻の數班なる者之れを發見し附近の者共を呼び起したるものなりと消防の狀況は二時四十分頃第一着に皇宮消防係驅け付け消防に從事し三時十分頃南部署管内一部二部の日本人消防來り死力を盡して消防に從事し殊に三時三十分頃俄然微風は強風に變じ南方なる裁判所官舍清水、四方田、城三官邸に燃へ移らんとするより南部署阪本井口兩警部は東西上下に分れ指揮して消防に努力せしが爲め幸に之を防ぎ得たり萬一不幸にして該市場に接近せる倉庫石油に燃へ移らんか南大門通りに及ぶべかりしなり當日の消防指揮方法及消防夫の働き振は目覺ましく四時四十分漸く鎭火したり燒失したる家屋は市場南方に位置せる倉庫五棟人家一棟東方に位置せる倉庫一棟半全燒し倉庫内に積込みありし白米千石及昆布、午皮、明太魚等にして損害高約十三万圓餘なりと

●ハレー彗星の位置 ▽肉眼にて認め得らる

ハレー彗星は其後位置の變動は少なきも光芒を增したれば午前三時より四時に至る間に於て附近の高所に上り東天を視れば肉眼にて容易に認め得べしと

●染物屋の摑合ひ

德島縣人當時大和町二丁目百十九番戸染物職八木楢吉三郎(三四)兵庫縣人當時大和町一丁目一橋染工場雇人八木龜太郎同雇人福岡縣人阿部駒太郎等は三日午後十時頃赤門通り五錢屋牛肉商植島方に落ち合ひ共に飲食中大楢は同家の女中みつ子なりみつ子さん私も煙草をと注文したるに大楢は俺れが注文したるに何故注文するかと云ひしより三人口論を起したるに大楢は有り合せの燒鍋を持ち八木の頭部を毆打負傷しめたる騷動に女中のみつは青くなり派出所に入殺しが初まりましたと附へ出で巡査出張南部署に引致し取調の上何れも同業者間の事とて大楢より治療費一圓五十錢を支出せしめ示談の上說諭放免

●嫉妬燒いて說諭

近衛步兵一等卒羅成萬は西部積坊司臨洞三十三統十戸文京植長女文晋(十四)と兩親の承諾を得夫婦約束を爲し未だ正式の結婚なきも夫婦同樣の生活を爲し居るに罷きに同家に寄宿せし外國語學校生徒金達榮と文晋(三五)色情關係ある如き世の風說に大に憤慨して羅成萬は戀の意恨如何で捨て置き難しとて同僚の兵三人を連れ來り既に腕力に及ばんとするより工后洞派出所へ保護願出に付西部署に引致取調べたるに金は全然如斯事なき旨否認するより羅と說諭放免

●韓篤行者へ褒狀

龍山坊東幕里上契十九統三戸高先默といふは此の界隈に知られたる分限者にて平素慈善の心懸けあり度々窮民を賑恤するなど奇特の行少なからざる者なるが本年一月二十八日韓人の臘末に際し洞内の貧民に金百五十圓白米十石大豆四石を賑恤せし事政府に聞へ此程内部大臣朴齊純氏は褒狀を附與し其篤行を賞せり

●醉つて件の如し

本町六丁目人力車駐車場車夫黃聖五(四六)が三日午後九時頃泥醉せる日本人を明治町迄の約束にて車に乘せ來りしに泥醉の結果自宅も不明にて車夫は困難の餘り南部署に持ち込みたれば同署に於て取調しに彼は明治町二丁目吉永留店裏石工中垣三郎(三五)なる事判明覺醒の上放免

●日韓巡査と口數

仁川警察署管内に於ける巡査一名に對する人口の割合を調査せし處に依れば日本人一万一千五百四十五人に對する日本巡査四十九名なれば二百三十八人に對する巡査一名の割となり亦た韓人九萬九千四十六人に對する韓人巡査三十八名なれば巡査一名に對する人口二千六百十二人の平均となるなり

●仁川の金筋警戒

仁川稅關工事の落札を當て込みて京城より團子取りと呼ぶ壯漢十名餘同地に乘込み工事受負人を脅迫して金員を强請し居れるにぞ仁川署に於ては嚴重に警戒中なり

●日韓瓦斯の園遊會 ▽會衆六百有余名

既報の如く日韓瓦斯電氣株式會社は瓦斯使用法實地供覽の爲め昨三日夫人連を招待して龍山の同社内に園遊會を開催し瓦斯應用の實地を觀覽に供したるが孰れも其簡便なるを見て嘆賞せりと興には京龍の名妓二十餘名の手踊及社員の手踊其他琵琶新演劇妓生の舞踏等あり午後六時散會したり尚ほ當日は折柄入京中の同社創立の功勞者大倉喜八郎氏を招待せるが氏は此盛況を見て頗る興に入り得意の狂歌を物したり

日韓瓦斯電氣會社園遊會に招かれ
日韓の園遊會の餘興とて
所作も日韓藝者妓生 鶴彥

木村一座の藝風(一)

▼木村猛夫の初期時代

去る三日より歌舞伎座に開演せる新演劇の木村猛夫一座は近來の大一座である、今迄韓國へ來た俳優は上は福井茂兵衛や嵐三から下は小喜多村や馬の足揃ひの旅芝居に至る迄新聞紙では無理に褒め倒して提灯を持つと云ふ習慣になつて居た、尤も之れは人口の少ない處へはる〳〵日本から芝居を引いたのだから是非儲けさしてやると云ふ仕打に同情する爲めに起つた惡習慣であるが併し今日となつては最早左樣な必要はない面白い奴は面白い拙い奴は拙いと遠慮なく書く方が藝術に對して忠實と云はねばならぬ、されば記者は今回の木村劇を評するを機會として此のレコードを破ることゝした。木村猛夫と云へば四十恰好の男盛り今が尤も彼れの全盛時代である、然るに世人は彼れの現在よりは七八年前の彼れをより多く稱して居る、即ち七八年前は彼れの所謂賣出しの時代で現今は彼れの老成しつゝある事を證明するものである、何んでも俳優になつたのが二十一歲の時で宇都宮の選擧運動から歸途都岡で武智元良と一座したのが初舞臺であるそうだ、それより名古屋に至り自ら座長となつて素人藝人抔を集めて一座を組織した、此時の一の乾分が彼の一時九州地方で賣出した池田一郎であつたそうだ、されば座長は却つて部下の者に藝を習つて舞臺を勤むると云ふ有樣であつたろうだ、當時の女形は何れも舊派から出て新派の生へ拔け女形と云ふ者はなかつた、處が彼れは容貌の美なる點より女形を思ひ付き强盜判事の梅次と云ふ藝妓に扮した、是れ抑々新派俳優女形の嚆矢で而かも彼れが貞婦役として成效するの緒口であつた。(もの字)

目と耳

▲歌舞伎座 木村猛夫一座五日の替り狂言は佐藤紅綠の作にして昨年高田實が本郷座にて演じ大喝采を博した「人の親」全七場にして重なる配役は左の如し

氏原米子(女優君子)氏原稙(女優濱華)とみ(女優部子)よし(女優豐子)下女れ梅(石井)女中れ竹(千葉)大田(千代田)馬丁金太(渡邊)妓夫(岡村)小二郎(高田)書生(村山)氏原龍五郎(內田)下女(奧山)社員(楠)夫人龍子(稲澤)番頭仙七(富士井)書生(小出)氏原健一(榎本)岩淵進(寺田)社員(東)田川(三好)れひら(白石)れとり(廣瀨)古田善八(桃井)漁夫幸兵衛(木村)

▲壽座 連夜大入大好評の同座中村時子一座五日の替り狂言は「假名手本忠臣藏」大序より七段目迄にして重なる配役は左の如し

判官、勘平(訥茂丸)藥師寺、彌五郎(錦太郎)伴內、折入源六(五郎)一文字やれ才(珊瑚)大星力彌(納子松郎)竹森喜太八(九〇)娘小なみ、若狹之助、平右衛門(狐狗狸)斧定九郎、政五郎)かほよ、れかる(蜻蛉)師直、由良之助(時子)

▲京城座 去る一日より開場の都合なりし同座は大道具小道具再調べの爲め更らに休演中の處愈々五日より俳優にも新顏を加へ大々的活動大車輪にて高覽に供す由にて劇題は「明治の毒婦火中の美人」なりと

▲平民文庫▼

▲久し振りに文庫子は讀者に見ゐることが出來たのを光榮とします▲妾が戀わづらひをして居るなんて根もないこと記者さんも隨分だワ「書いてれくれな根もないことを世間の手前もあるものを」(井門の雛子に代りて)▲八洲亭のれたみさん君は一日の日曜に波多野君をナゼ南山で待ちぼけをさせましたかアンナ事をしてはホントに罪ですよ彼の晚波多野君は下宿に歸つてから君の無情を恨んで泣いて居ましたよ(自然派のエス生)▲前途多望なる兩君へ左のヘナブリ一首呈す「八洲に浮名立ちたるれたみさん波多野見る目を少しや御注意」(同上)▲京城龍山兩民團合併問題は吾人居留民に取りては實に大問題なり虛榮心又は野心家利害關係を有する小數議員にて決定されては困る宜敷多數居留民の意志をも徵し然る後解決されたし理事官民長等に於ても此の邊に注意あり度ものなり輕擧されては大問題生ぜん(一居留民)▲新喜劇俱我硒家は至る所大入氣にて五月一日鎭南浦打揚後安東縣に乘込み次は大連歌舞伎座に乘込み次は及々仁川に於る都合貫地御贔負に(同一座)▲山邊勇輔氏夫人に關する投書は全然仲傷に出でたるものと認め沒とす 女振り子▲韓美電氣時代から見ると日韓瓦斯電氣の供給する電球は保が不可い下等の電球の目印しは中に赤紙が貼つてある(電氣蟲)▲又々火事があつた夫れが仲々の大火であるのに廣く知られなかつた東京や大阪の如き面積の廣い所でもアノ位の火事なら大槪の市民は方角位は見に出ざるを得ざるべくされる、然るに此の猫の額を少し大きくした位の京城での火事が一般に知れ渡らぬとは市民が寢坊なからか通報機關の不備な爲めか考へなくても判るだらう判つたら判つた樣に處置して然るべきだ手で計りは仕事は出來んよ(への字)▲使ひたいけど生憎財嚢中にや味噌がないのぢやあるまいか此れは一考を要する(小僧)

今日の運勢

五月五日舊三月廿五日七赤先負庚午滿△一白●會心の日なるも節制を失ひ易し新事及祝典宴會手控への事△二黑●家族又は他人のため世話事あり誘獎の事三省すべし△三碧●交際取引上に爭論間違起らん不動產及重要動產の賣買不利△四綠●盜害橫傾防ぐべし婚姻協同結社には好適新事見合の事△五黃●貸借保證間違多し其他平凡とす△六白●家庭及交際上に紛爭起らんとす農工家には好き商家には損毛の日とす△七赤●不利不適なり創業開店起工起業相談訂約等罷り難し衛生上注意すべし△八白●親疎に拘らず損害受け易し音信の授受間違起らん△九紫●沈鬱の日新事及旅行見合せの事貸借談合不整(本町五丁目三一館判斷)

●天氣豫報(自四日午後六時至五日午後六時)
東風曇少雨後晴
三日(華氏) 最高溫度七一、一 最低溫度四七、一